



## 新年のご挨拶



新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、統一地方選挙、参院選と選挙続きの年でした。また公明党の日常活動につきましても、皆様に大変お世話になり、本当にありがとうございました。

今、国会は「ねじれ国会」で国民のための大事な法案が十分審議されない残念な状態です。公明党はそんな中、政治資金規正法の全領収書の公開をはじめ、自然災害の被災者支援策の強化、中国残留孤児への支援の拡充、最低賃金が生活保護を下回らないようにする法改正など、生活者の視点に立った政策を実現してきました。

県議会にあっても、「安全・安心まちづくり条例」の制定や周産期医療救急体制の充実、福祉と労働部門の連携強化などを勝ち取ってまいりました。

政治は何のためにあるのか。「大衆とともに」の立党の原点に常に立ち返りながら、新しい1年を進んでいこうと決意しております。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様にとってすばらしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

福岡県議会議員

高橋雅成



「何のため」忘れず、最前線で行動します。

## 4年越しの提案実り

### 安全・安心まちづくり条例制定

公明党福岡県議団が議会で求め続けていた「安全・安心まちづくり条例」が平成19年12月議会で、ようやく成立しました。暴力や犯罪のない安全で安心な福岡県をつくるため、行政、警察、教育、県民、事業者などの役割を明確化するとともに、今後、指針の策定や推進体制の整備が進められます。

公明党は平成15年12月議会で同条例の制定を初めて提案したほか、その後もたびたび条例制定を求め続けてきました。

### 福祉と就労支援の連携を強化へ

福岡県は平成20年4月から庁内の部局の再編を行うことになりました。この中で、これまでバラバラだった福祉の生活支援と労働の就労支援との連携をスムーズに行うため、福祉労働部を誕生させることになりました。高橋議員は、生活、就労の両支援の連携強化と部の再編を求めていました。

→ 一部局の再編について質問する高橋議員





## 12月議会

## 薬物乱用ワースト1返上せよ

福岡県議会の12月定例会が12月3日から同20日まで行われ、高橋議員は、一般質問でシンナー、覚せい剤などの薬物乱用問題で県、県教育庁、県警に対策強化を求めました。

福岡県の少年による薬物乱用問題は深刻で、平成18年にシンナー乱用で検挙補導された少年少女は全国ワースト1位（7年連続）。同じく覚せい剤は2位、大麻は4位という結果です。

このため、県では、薬物乱用防止（新）5カ年戦略を立て、対策を講じており、乱用者は減少傾向にあるもののワースト1返上には至っていません。

こうしたことから高橋議員は、県精神保健福祉センターを中心とした治療相談体制の強化、小中高校での薬物乱用防止教室の実施率のアップ、県警の薬物乱用防止広報車の活用・充実などを提案、一刻も早い汚名返上を求めました。

## 平成20年度予算で要望

公明党福岡県議団は12月20日、麻生渡知事に対し、平成20年度予算編成に対する要望を行いました。要望は110項目。地域防災力の向上や交通事故発生の抑制、発達障害の早期発見に向けた5歳児健診の実施、障害者などの就業支援、河川管理計画の策定など、いずれも県民生活に直結したものであり。麻生知事は、「足で稼いだ実態に基づいた要望ばかり。予算編成に生かしたい」などと答えました。

また席上、公明党県議団は、原油価格の高

騰に対応するため、緊急要望をしました。

県は早速、①中小企業に対し、相談窓口の設置、資金繰り・金融円滑化策等②建設業や漁業・農林業等に対し利子補給や低利融資の創設等③生活関連で離島航路やバス路線への補助等④石油製品の価格監視強化—などの緊急対策を決定しました。

**銃保管状況の  
総点検も求める**

この日はさらに、長崎県佐世保市で起

こった猟銃乱射・殺人事件を教訓に、銃の保管状況の総点検などを実施するよう殿川一郎県警本部長に要望しました。



麻生知事に予算要望する公明党県議団